

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 憲法違反の土地利用規制法案は廃案に！



記者会見する「オール沖縄会議」の金城徹共同代表（左から4人目）、糸数慶子共同代表（その右）ら。金城氏は「基地に反対する人たちを通り越して、住民生活に大きな被害が起きる法律だ」として「憲法違反の法律を制定するには大きな問題だ」と訴えました。（写真提供・しんぶん赤旗）

「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は5月26日、沖縄県庁で記者会見し国会で審議中の土地利用規制法案に対し基地反対の抗議活動まで制限するもので「憲法が保障する基本的な権利を踏みこむものであり、即時廃案にすべき」との声明を発表しました。

声明では市街地に軍事基地がある沖縄では隣接する民有地が規制対象となり、住民の土地取引や利用に制限が出て、地価などに影響を与えて資産価値が下がる可能性があると指摘しています。また、重要施設周辺では政府が「阻害行為」と見なせば辺野古新基地建設に反対する「座り込みをする市民やカヌーでの抗議活動も規制対象になる恐れもある」と問題視しています。

辺野古の抗議も制限の恐れ「オール沖縄会議」が会見

## 塩川港でベルトコンベヤー使用し赤土積み込み 「説明会での石材種類、運搬量などはウソだった」と住民が批判



塩川港南側岸壁の運搬船1隻にベルトコンベヤー2台を設置し、赤土を積みこんでいました。北側岸壁では台船1隻に積み込んでいました。（5月31日、午前11時）

本部町塩川港からの辺野古の埋め立て用の土砂搬出で、防衛局は5月26日からベルトコンベヤーを設置し直接運搬船に積み込む作業を開始しています（写真）。積み込んだ量は、26日にダンパーカー660台分、28日は286台分です。31日もフル回転で作業を進めていました。

**「説明すべてが違反です」**  
本部町島ぐるみの原田さんの話  
現場で監視活動中の本部町島ぐるみ会議の原田みき子さんに話を聞きました。  
「防衛局は4年前の住民説明会で話した内容のすべてに違反しています。説明会では搬出するのは石材だったのに、運んでいるのは粘土のような赤土です。運搬量は一日当たり10台ダンパー160台相当と説明していたのに多い時では一日800台も搬出しています。また、作業時間は8時から17時までと説明していたのに朝7時から夜8時まで作業するときもある。説明会の内容は反故にされている。国が住民に嘘をつくなどんでもない」と批判していました。

## 名護民商 最高現勢で37回総会を開催



上の写真は総会であいさつする仲本会長（中央）円内は、挨拶する岸本市議

名護民商工会は5月28日、第37回定期総会を同民商会館で規模を縮小して開催しました。この1年、「コロナに負けずに商売を続けよう」と業者の営業とくらし、平和を守るたかひを続け会員700人に到達、過去最高の会員現勢で総会を迎えました。総会では引き続き、業者の要求実現のほか「平和でこそ商売繁盛」と辺野古新基地建設を阻止し、総選挙で野党共闘を勝利させ来年1月の名護市長選挙で勝利し、デニー県政を支える「オール沖縄」をいっそう強化するなど新方針を採択しました。

**岸本市議が初めて民商で挨拶**  
総会では、名護市長選に出馬表明をした岸本洋平名護市議が民商総会で初めて挨拶を行い、東恩納琢磨、吉居俊平両市議も参加しました。仲本興真会長、比嘉末美事務局長など新役員を選出しました。

## 軍事政権許すな！ ミャンマー（ビルマ）支援！ サンセットライブ

とき・7月17日（土）

PM6:00～8:00

ところ・名護市 21世紀の森  
屋外ステージ

出演・海勢頭豊、川口真由美、大城松健、  
知念良吉、フラダンス（読谷）

訴え・ミャンマー国民（沖縄在住）

整理券・500円（大学生以下無料）

※緊急事態宣言発令中の場合は延期します。※完全チケット制です。

主催・ミャンマー支援実行委員会

連絡先・吉川秀樹（080-8554-9718）